



あわじ花さじき

# わたしたちのまちの 景況レポート No. 15

2018年7~9月期実績・2018年10~12月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

1. 調査対象期間：平成 30 年 7～9 月期実績・10～12 月期見通し
2. 調査企業数：700 社（製造 161、卸売 105、小売 119、サービス 123、建設 143、不動産 49）
3. 調査地区：当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
4. 分析方法：D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合－「悪い」「減少」「下降」の回答割合）  
※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

【業種別、地区別 天気図】

地区 業種	全事業地区 (700先)			淡路地区 (392先)			神明地区 (308先)		
	2018年 4～6月 (前期)	2018年 7～9月 (今期)	2018年 10～12月 (見通し)	2018年 4～6月 (前期)	2018年 7～9月 (今期)	2018年 10～12月 (見通し)	2018年 4～6月 (前期)	2018年 7～9月 (今期)	2018年 10～12月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調 ← → 低調

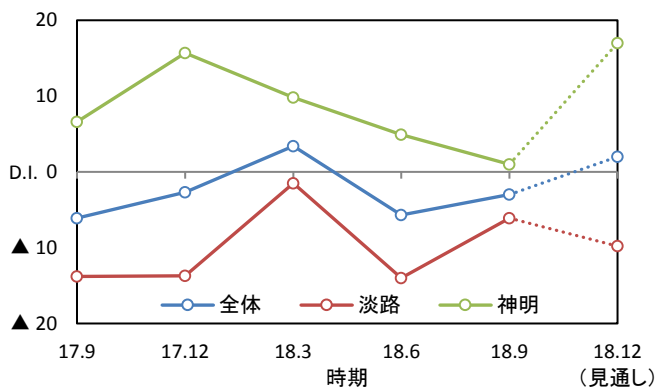
全業種

前期 今期 来期

業況は、今期（18年9月期）▲3.0と、前期（同年6月期）に比べ2.7ポイントマイナス幅を縮めた。とりわけ卸売業で▲1.9（前期は▲18.1）と大きくマイナス幅を縮めた。3か月後の先行きもプラス2.0と好転の見通し。

一方、「上昇」から「下降」を差し引いた価格判断DIを見ると、仕入価格はプラス31の上昇「超」に対し、販売価格はプラス5.6の上昇「超」に留まっており、コスト増加分を販売価格に転嫁することに慎重な姿勢が窺える。

業況判断D.I.の推移（地区別）



	18年6月 (前期)	18年9月 (今期)	18年12月 (見通し)
業況	-5.7	-3.0	2.0
売上額(前期比)	-0.3	5.7	6.6
収益(前期比)	-4.6	1.4	0.0
販売価格(前期比)	2.9	5.6	4.9
仕入価格(前期比)	34.1	31.0	21.9
人手過不足(過剰-不足)	-31.7	-33.0	-32.6
資金繰り(楽-苦)	-2.4	-3.0	-4.0
設備投資実施企業割合(%)	25.3	21.8	23.7

## 製造業

前期

今期

来期



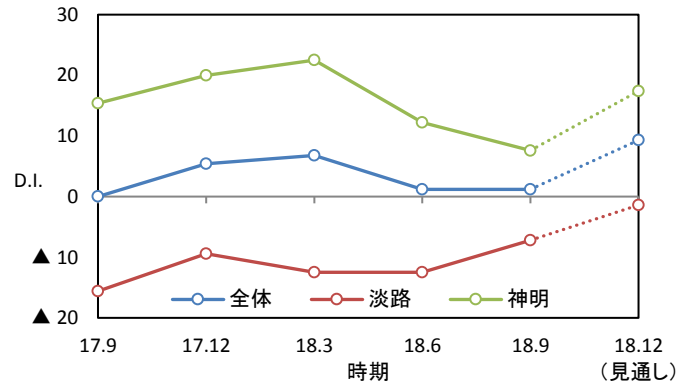
業況は、前期と変わらず 1.2 と 4 四半期連続プラスとなった。来期は 9.3 とさらに上向く見通し。神明地区が好調で全地区を牽引している。人手不足(▲33.5)や仕入価格上昇(プラス 41.3)に苦しみながらも、売上を増加(プラス 5.6)させ収益改善(前期▲4.9→今期▲3.7)を図っている。

### お客様の声

国内に加え海外向けの受注が活発。「ものづくり補助金」の採択が更なる追い風となって受注が伸びている。鉄鋼価格が少しずつ上昇しているのが懸念材料だが、もう少し様子を見ていく。(淡路地区)

品質が認められ好調な受注状況にあるが、原材料価格の上昇と販売先からの下代の値下げ要請の狭間で利幅が縮小傾向にあり苦労している。(神明地区)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	18年6月 (前期)	18年9月 (今期)	18年12月 (見通し)
業況	1.2	1.2	9.3
売上(前期比)	2.5	5.6	14.9
収益(前期比)	-4.9	-3.7	5.0
販売価格(前期比)	3.1	4.3	6.3
仕入価格(前期比)	49.1	41.3	28.1
人手過不足(過剰-不足)	-30.9	-33.5	-34.2
資金繰り(楽-苦)	-1.2	-3.7	-5.6
設備投資実施企業割合(%)	28.3	22.5	25.8

## 卸売業

前期

今期

来期



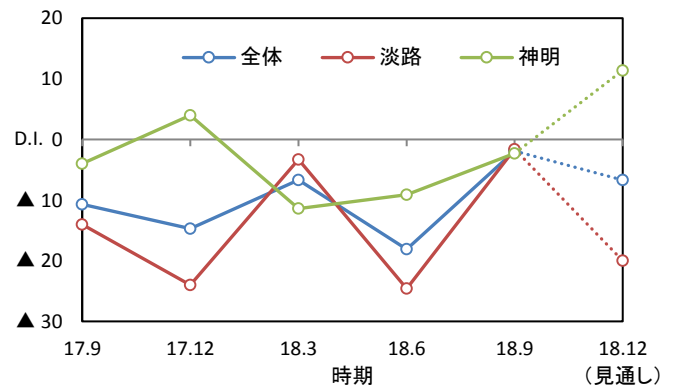
業況は改善し、前期の▲18.1 から今期▲1.9 とマイナス幅を大きく縮めた。販売価格がプラス 17.3 となったことに伴い売上額が 14.3、収益が 11.4 とそれぞれ改善されたことが一因。一方、「過剰」から「不足」を差し引いた人手不足は▲28.6(前期は▲22.9)と足元で不足感が強まっており、業況の先行きも▲6.7と、楽観視はしていない。

### お客様の声

島内の市場は縮小傾向で島外の販路拡大に注力している。島外への営業展開に向けて M&A や助成金等の支援制度を活用し事業規模を拡大したい。(淡路地区)

各種フェアへ積極的に参加し取引先の増加を図っている。商品の値上、人件費・役員報酬の見直し、経費削減努力等による利益確保が課題。(神明地区)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



	18年6月 (前期)	18年9月 (今期)	18年12月 (見通し)
業況	-18.1	-1.9	-6.7
売上額(前期比)	-1.0	14.3	-3.8
収益(前期比)	-1.9	11.4	-8.6
販売価格(前期比)	8.6	17.3	15.2
仕入価格(前期比)	28.6	32.4	21.9
人手過不足(過剰-不足)	-22.9	-28.6	-21.9
資金繰り(楽-苦)	-1.9	-1.9	-1.0
設備投資実施企業割合(%)	21.2	20.2	22.9

## 小売業

前期



今期



来期



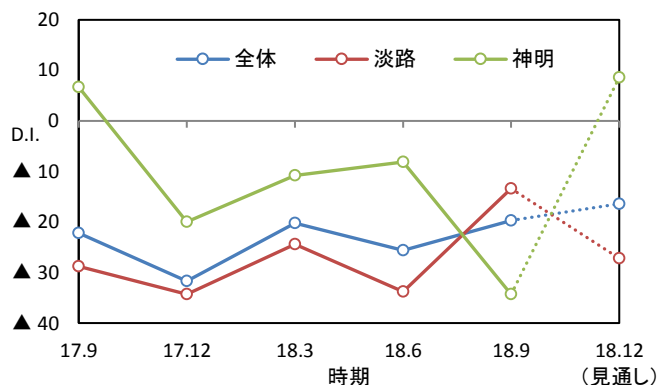
業況は、前期比 5.9 ㊦改善したが依然▲19.7 と厳しい。インターネット通販など競争が激しい小売業にとって価格転嫁は難しく、販売価格は前期比 1.7 ㊦減少の 8.5、来期はマイナスを見込む。一方、神明地区の業況を見ると、西日本豪雨、異常気象等の影響もあってか今期は大きく低下したが、3 か月後の先行きは「不変」や「悪くなる」から「やや良くなる」への回答の変化が多く見られ、プラス転化が見込まれている。

### お客様の声

台風等の影響による来店客の減少に伴い売上も減少。人件費等の経費削減に加え、新規仕入先開拓による原価の見直しを図り、利益確保に努める。（淡路地区）

売上自体は安定しているものの猛暑の影響もあり野菜を中心に仕入単価が上昇気味。また、パート人員も不足しており、募集をかけているが、最近はなかなか集まらない。（神明地区）

業況判断 D.I. の推移（地区別）



(D.I.)

	18年6月 (前期)	18年9月 (今期)	18年12月 (見通し)
業況	-25.6	-19.7	-16.4
売上額(前期比)	-11.9	-5.9	-7.6
収益(前期比)	-14.4	-7.6	-11.9
販売価格(前期比)	10.2	8.5	-0.8
仕入価格(前期比)	25.4	22.0	16.1
人手過不足(過剰-不足)	-19.5	-25.4	-25.4
資金繰り(楽-苦)	-14.4	-6.8	-6.8
設備投資実施企業割合(%)	16.9	18.6	16.5

## サービス業

前期



今期



来期



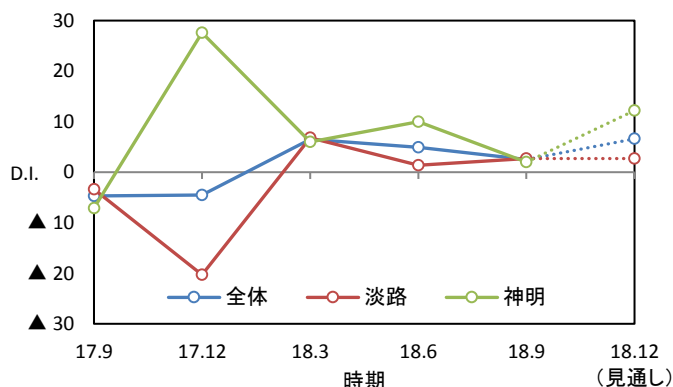
今期の業況は 2.5 と前期より 2.4 ㊦低下し改善は一服したが、先行きは 6.6 と再び上向く見通し。仕入価格が 9 ㊦低下したこともあり収益は 11.5 とわずかながら改善している。人手不足 (▲39.7) への対応からか、設備投資に積極的で、内訳を見ても機械の増設・更改が 4 割を占めている。

### お客様の声

より好条件なところへ人材が流出し、人手不足感が強まっている。将来へ向けて若手社員の定着は重要であり、技術力向上のための資格取得の推奨に加え、経営者との距離感を近くするよう取り組む。（淡路地区）

事業拡大のため M&A にも積極的で今後は国内のみならず海外市場の開拓も視野に入れている。（神明地区）

業況判断 D.I. の推移（地区別）



(D.I.)

	18年6月 (前期)	18年9月 (今期)	18年12月 (見通し)
業況	4.9	2.5	6.6
売上額(前期比)	12.3	13.1	3.3
収益(前期比)	9.8	11.5	1.6
販売価格(前期比)	3.3	3.3	0.8
仕入価格(前期比)	30.3	21.3	16.4
人手過不足(過剰-不足)	-45.9	-39.7	-38.5
資金繰り(楽-苦)	-1.6	-3.3	-9.8
設備投資実施企業割合(%)	28.7	24.0	26.7

## 建設業

前期

今期

来期

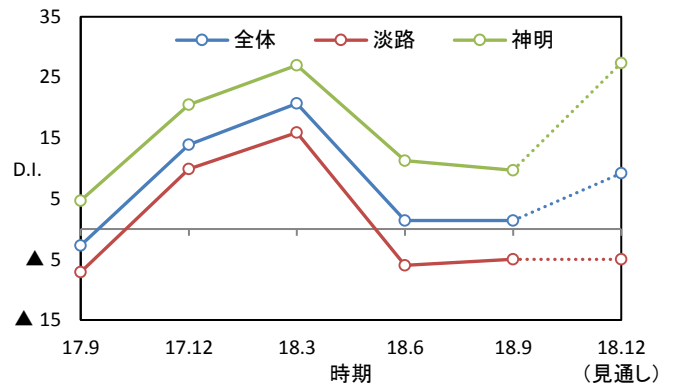
今期の業況は1.4と前期から横ばいで推移したが、先行きは9.2と上向き見通し。仕入価格の0.5%上昇に対し販売価格は6.2%改善され、売上額11.1%、収益11%の改善となった。資金繰りはプラス0.7と前期より2.1%低下したが他の業種からみると安定している。

### お客様の声

1年間の工事は確保できているが、利幅が小さく収益確保が厳しい。人手不足の状況ではあるが、残業時間も含め労働環境の改善を図っていかなければならない。  
(淡路地区)

東京オリンピック需要もあってか主材料のH形鋼価格が上昇傾向にある。受注に関しては途切れることはないが、外注先(下請け)の確保が困難になってきている。  
(神明地区)

業況判断D.I.の推移(地区別)



(D.I.)

	18年6月 (前期)	18年9月 (今期)	18年12月 (見通し)
業況	1.4	1.4	9.2
売上額(前期比)	-6.9	4.2	16.8
収益(前期比)	-13.1	-2.1	4.2
販売価格(前期比)	-6.9	-0.7	2.8
仕入価格(前期比)	36.6	37.1	25.2
人手過不足(過剰-不足)	-44.8	-44.1	-47.6
資金繰り(楽-苦)	2.8	0.7	1.4
設備投資実施企業割合(%)	29.0	23.1	25.2

## 不動産業

前期

今期

来期

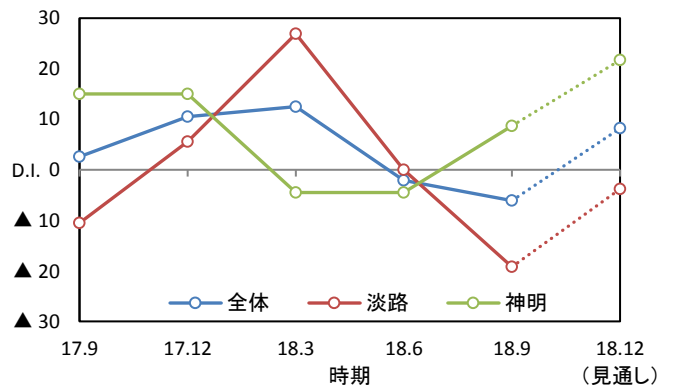
今期の業況は神明地区で8.7(前期は▲4.5)と好転したが、淡路地区で▲19.2(前期は0)となり、全体では▲6.1と前期比4%低下した。価格面では、仕入・販売価格とも淡路では横ばいだが、神明地区では上昇が続いておりそれぞれプラス34.8、プラス8.7となっている。資金繰りは▲4.1とマイナスに転じ、苦しいとする企業の声が増えた。

### お客様の声

入居率は100%を維持し業況は順調であるが近隣での新築マンションの増加を受け入居率の低下・家賃の引下げ等、今後の不安を感じている。  
(淡路地区)

ここ数年の営業地区内の土地価格上昇により採算が取れる事業用地が少なくなってきており、商品不動産の仕入れに苦労している。  
(神明地区)

業況判断D.I.の推移(地区別)

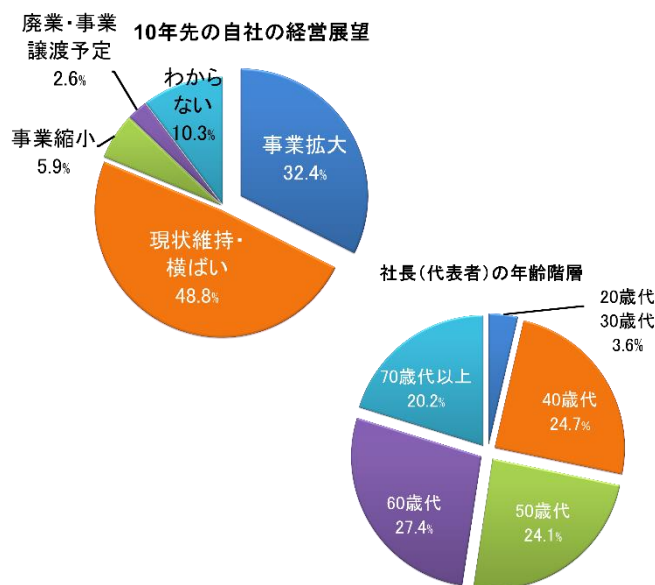


(D.I.)

	18年6月 (前期)	18年9月 (今期)	18年12月 (見通し)
業況	-2.1	-6.1	8.2
売上額(前期比)	8.3	2.0	14.3
収益(前期比)	4.2	4.1	14.3
販売価格(前期比)	0.0	2.1	8.3
仕入価格(前期比)	17.8	21.7	19.6
人手過不足(過剰-不足)	-8.3	-10.4	-8.3
資金繰り(楽-苦)	4.2	-4.1	0.0

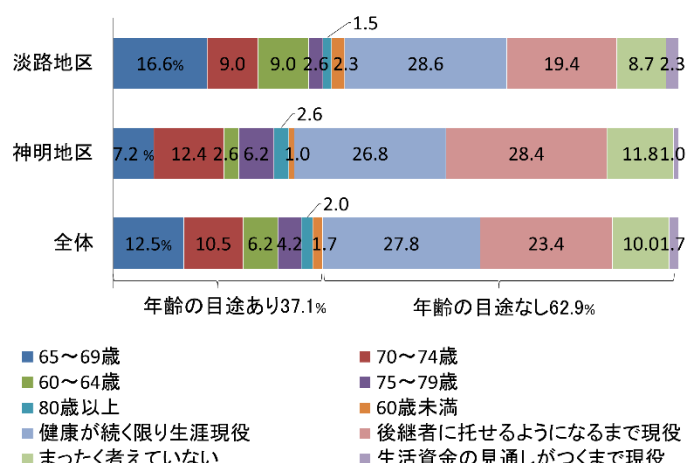
問1 10年先の自社の経営展望と代表者の年齢階層

10年先の自社の経営展望については、「現状維持・横ばい」が48.8%と最も高いものの、2番目には「事業拡大(32.4%)」が続いた。「事業縮小」は5.9%、「廃業・事業譲渡予定」は2.6%、「わからない」は10.3%であった。従業員の規模が大きいほど「事業拡大」と回答する割合が高い傾向が見られた。また、経営者の年齢階層別では若い経営者ほど「事業拡大」の回答割合が高い一方で、年齢が上がるにつれて「事業縮小」「廃業・事業譲渡予定」の回答割合が高くなる傾向が見られた。



問2 現役を続ける目的

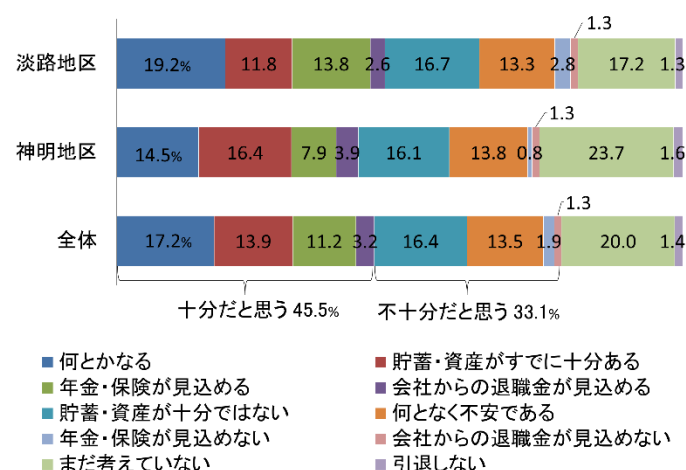
経営者として現役を続ける目的については、「具体的な年齢の目的がある」は37.1%、「具体的な年齢の目的はない」が62.9%となった。年齢の目的がある企業では「65～69歳(12.5%)」や「70～74歳(10.5%)」が高く、年齢の目的がない企業では「健康が続く限り生涯現役(27.8%)」や「後継者に托せるようになるまで現役(23.4%)」が高かった。従業員規模別では小さい企業ほど「健康が続く限り生涯現役」、「まったく考えていない」の回答割合が高く、大きい企業ほど「後継者に托せるようになるまで現役」の回答割合が高かった。



問3 経営者を引退した後の生活資金

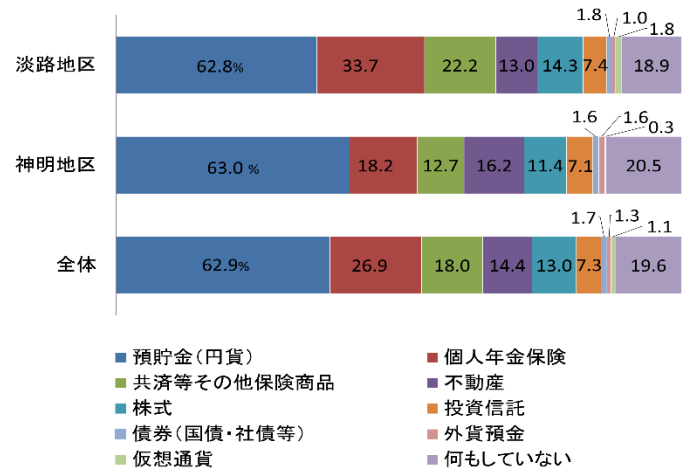
経営者を引退した後の生活資金については、「十分だと思う」の45.5%に対して、「まだ不十分だと思う」が33.1%であった。「まだ考えていない」は20.0%、「引退しない」は1.4%であった。

「十分だと思う」の内訳を見ると、「何とかなる(17.2%)」や「貯蓄・資産がすでに十分ある(13.9%)」、「年金・保険が見込める(11.2%)」が高く、「十分だと思わない」の内訳を見ると、「貯蓄・資産が十分ではない(16.4%)」や「何となく不安である(13.5%)」が高かった。従業員規模別では大きい企業ほど、また業種別では不動産業で、「十分だと思う」の回答割合が高かった。



#### 問4 代表者の個人資産管理・運用

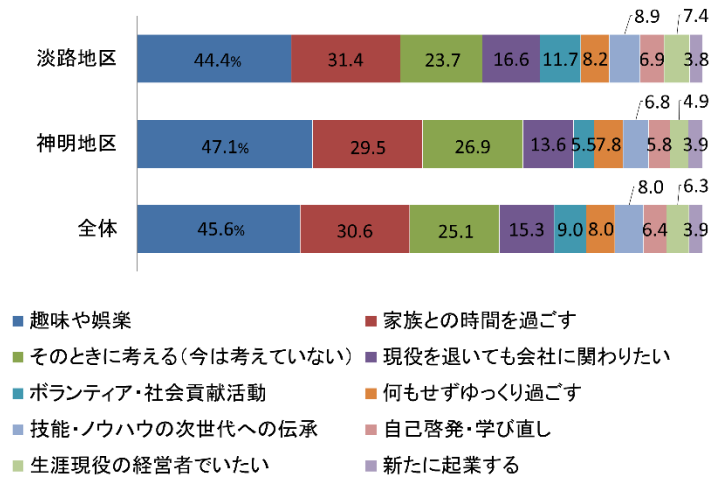
経営者個人としての資産管理・運用については、「円貯金（円貨）」が62.9%と最も高く、以下「個人年金（26.9%）」、「共済等その他保険商品（18.0%）」、「不動産（14.4%）」、「株式（13.0%）」、「投資信託（7.3%）」となった。また、「何もしていない」は19.6%となった。地区別に見ると、淡路地区で神明地区に比べて「個人年金保険」、「共済等その他保険商品」の回答割合が高かった。従業員規模別では大きい企業ほど「株式」の回答割合が、業種別では不動産業で「不動産」の回答割合が高かった。



(備考)最大3つまで複数回答

#### 問5 現役を退いた後の生活イメージ

現役を退いた後の生活イメージについては、「趣味や娯楽」が45.6%と最も高く、以下、「家族との時間を過ごす（30.6%）」、「その時に考える（今は考えていない）（25.1%）」、「現役を退いても会社に関わりたい（15.3%）」、「ボランティア・社会貢献活動（9.0%）」が続いた。「趣味や娯楽」や「家族との時間を過ごす」は地区や従業員規模、業種を問わず回答割合が高かった。



(備考)最大3つまで複数回答

#### 今回の調査から

今回の景気動向調査からは、次のような傾向も見受けられました。

- 業種にかかわらず人手不足が深刻で、事業を継続するにも、拡大するにも人材確保が課題となっている。賃金を上げてでも人材を確保したいという意識が高まり、人件費負担が増加傾向にある。建設業のなかには下請先確保が難しいため工事受注を控えている先もあった。
- 淡路島では、メディアによる「食の淡路島」としての露出が増えたことで、観光や海水浴に加え食を求めての来島者が増加しているが、今期は西日本豪雨、台風等、荒天続きで、旅館や飲食店の予約のキャンセル、食材の高騰などが目立った。
- 大型量販店に脅威を抱きつつ狭い商圈で商売を行う地元の小売業では、地区内人口の減少、顧客の高齢化に一層の危機感を持ち、経費の見直し、取扱商品の差別化、さらにはインターネットを活用した販路拡大に取り組んでいる。
- 後継者がいないため引退に踏み切れないという経営者もいた。また、小規模事業者ほど生涯現役の意識が強いように感じられた。
- 原材料価格が上昇しているが、競争が激しく価格転嫁をすると売上げに影響する。経費削減にも限度があり、いかにして収益を維持するかに苦慮しているところも少なからずあった。

#### 【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部（柏木、岡田、眞野）  
TEL：0799-22-1020 FAX：0799-24-3177

# かわらばん

## ～「遺言・相続に関する相談会」を開催します～

遺言・相続に関する皆さまのお悩みに、弁護士が直接お答えします。

- ・日時：平成30年11月15日（木）  
10時、11時、13時、14時、15時（各1時間）
- ・場所：淡路信用金庫本店
- ・定員：10名（定員に達し次第、締め切り）
- ・締切：10月30日まで
- ・参加費：無料

※事前予約制となっております。お近くの営業店または業務部（TEL:0799-22-1020）までお問い合わせください。

## ～兵庫県よろず支援拠点「サテライト相談所」～

兵庫県よろず支援拠点とは、国が全国都道府県に設置した経営相談窓口です。創業、補助金活用、販路拡大、その他経営のお悩みなど何でもご相談いただけます。また、同拠点では相談者の利便性向上のために淡路県民局において「サテライト相談所」を開設しております。ぜひご利用ください。

- ・開設日時：毎月第一木曜日（2019年1月は第二木曜日）  
11:00、13:15、14:30、15:45（各1時間）
- ・開設場所：淡路県民局1階会議室（洲本市塩屋2-4-5）
- ※事前予約制。兵庫県よろず支援拠点（TEL:078-977-9085）または業務部（TEL:0799-22-1020）までお申込みください。

## ～IT導入補助金 3次公募～

簡易税務・会計処理、POS マーケティング、簡易決裁、在庫・仕入管理、顧客情報管理・分析等におけるITツールを導入するための経費の一部を補助するものです。

- ・交付申請期間：2018年9月12日（水）～11月19日（月）
- ・補助額：15～50万円（補助率：1/2以下）
- ・補助対象：補助金HPに公開されているITツール（ソフトウェア、サービス等）が対象。HPの制作も新規制作に限り補助対象。
- ・HP：<http://www.it-hojo.jp/>

## ～軽減税率対策補助金～

消費税軽減税率制度（2019年10月1日～）の実施に伴い、対応が必要となる中小企業・小規模事業者等に対して、複数税率対応レジの導入や受発注システムの改修等に要する経費の一部を補助することにより導入等の準備が円滑に進むようにする制度です。

- ・申請類型は2種類

A型	複数税率に対応できるレジを新しく導入したり、対応できるように既存のレジを改修したりするときに使える補助金です。
B型	電子的な受発注システム（EDI/EOS等）を利用する事業者のうち、複数税率に対応するために必要となる機能について、改修・入替を行う場合に使える補助金です。

- ・支援対象：2016年3月29日～2019年9月30日までに導入または改修等が完了したもの

- ・申請受付期限：

- ①A型、B-2型：2019年12月16日までに申請（事後申請）
- ②B-1型：2019年9月30日までに事業完了を前提に同年6月28日までに交付申請。完了報告書は同年12月16日までに提出。

- ・問合せ先：軽減税率対策補助金事務局コールセンター  
受付時間：9時～17時（土日祝除く）  
Tel:0570-053-555、03-6627-1316（IP電話等）
- ・HP：<http://kzt-hojo.jp/>

## ～ひょうご農商工連携ファンド事業助成金～

- ・応募期間：2018年9月3日～11月30日（最終日は16時必着）
- ・対象者：県内の中小企業者等と農林漁業者の連携体
- ・対象事業：兵庫県内の農林漁業資源を活用した新商品の開発、新サービスの提供のために取組む事業
- ・助成期間：交付決定日から2020年9月30日まで
- ・助成金額：50万円以上500万円以内
- ・助成対象経費：①研究開発費 ②販路開拓費
- ・問合せ先：（公財）ひょうご産業活性化センター  
創業推進部 新事業課（TEL:078-977-9072）
- ・HP：<http://web.hyogo-iic.ne.jp/kigyorenkeifund>